

# 北海道青少年のための200冊 令和2年度新たに選定された43冊紹介




「道民家庭の日」  
イメージキャラクター  
はーはーくん

公益財団法人 北海道青少年育成協会  
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階  
TEL. (011) 231-6451 FAX. (011) 231-6457  
ホームページ: <http://www.ikuseikyoku.jp/>  
facebook: <https://www.facebook.com/ikuseikyoku>  
Eメール: [youth@ikuseikyoku.jp](mailto:youth@ikuseikyoku.jp)


## 幼児の部

**ヒキガエルがいく** [岩波書店] 1,800円  
バク・ジョンチェ (作)




太鼓の音だけで書かれています。韓国の仏教では、太鼓は動物のために鳴らすといわれています。蛙が産卵のために、山を下り、様々な障害を乗り越えながら愚直に歩み続ける旅を、力強く描いた絵本。

**かなしみがやってきたらきみは** [ほるぷ出版] 1,500円  
エヴァ・イーランド (作)




誰にでもやってくる悲しみ。訳もなくやってきたり、飲み込まれてしまいそうになったり。悲しみからは逃げるのではなく、怖がらずに折り合いをつけていくこと。悲しみの気持ちにそっと寄り添う、とおきの絵本。

**ぞうのヘンリエッタさん** [岩崎書店] 1,400円  
リズ・ウォン (作・絵)



象のヘンリエッタさんは静かで落ち着いた暮らしを楽しんでいましたが、ガチョウの雛を育てることになり、ドタバタの生活に疲れ果ててしまいます。雛が巣立ち、待ち焦がれた静かな時間に暮るのは寂しさばかり。様々な立場の人が共感しほっこりする絵本。


**テツコ・プー ふうせんになったおんなのこ** [偕成社] 1,400円  
児島 なおみ (作・絵)



朝から「プーッ」としたい気持ちでいっぱいテツコ・プー。弟をつねて怒られ、ますますプーッとしているうちに、風船みたいに膨らんで飛んでいってしまいます。もやもやとした気持ちを説明できずに「プーッ」となる子どもの気持ちに寄り添った絵本。


## 小学校1年生の部

**きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる** [アリス館] 1,500円  
かさい まり (文) 星野 イクミ (絵)




むかわ町穂別で発見された「むかわ竜」がモデルとなった恐竜のサンは、泣き虫で恐がり。ある日、ティラノサウルスに襲われ、命を落としてしまいますが…。サンが化石となり、時空を超えて、生命の神秘や科学の楽しさを教えてくれる絵本。

**かぜがふくふく** [フレーベル館] 1,400円  
田島 征三 (作)




ネノくんとキフちゃんは、ある日、風に舞う落ち葉に乗って、ふわりと空へ。秋の風に乗って、葉っぱや木の実、虫が舞い、豊かな実りの中で、二人はひとときの不思議を楽しみます。豊かな自然との触れ合いをえがく、豊かさとおしやかに溢れた絵本。

**ジャックのどきどきモンスター** [光村教育図書] 1,400円  
サン・ズッパル (作)



がんばって練習してきた発表会の当日、ジャックの前に現れたのはどきどきモンスター。逃げて隠れてもくっついてくるし、どんどん大きくなるし…。不安に押しつぶされそうになる心の機微を丁寧に描いた絵本。友達に小さくする方法を教える最後も秀逸。


**キリンのあかちゃんがうまれた日** [ポプラ社] 1,500円  
志茂田 景樹 (文) 木島 誠吾 (絵)



きたの動物園のキリンに、待望の赤ちゃんができました。お母さんキリンのコハネが無事に元気な赤ちゃんキリンを産むまでの日々を、お父さんキリンのスカイの目線で、生き生きと描いています。釧路市動物園がモデルとなった絵本。

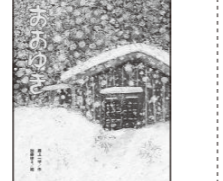
## 小学校2年生の部

**とんでいった ふうせんは** [絵本塾出版] 1,500円  
ジェシー・オリベロス (文) ダナ・ウエルコッテ (絵)




おじいちゃんも僕も誰もが持っている、思い出という風船。おじいちゃんは、たくさんの風船を持っていたけれど、次々と風船を手放していくように…。家族が認知症をどう捉え、向き合っていくのかを優しく教えてくれる絵本。

**おおゆき** [鈴木出版] 1,400円  
最上 一平 (作) 加藤 休ミ (絵)




大晦日の朝早く、まだ暗い中、トイレを借りた女の子がやってきました。外を見れば1000台もの大渋滞! 「こりゃあ難儀しているべえ」と、村中総出で手助けをします。とんだ災難にも人助けに精を出し、心温まる思い出に変えてくれた、雪国の家族の物語。

**どうぶつのかぞくアフリカゾウ よむむしとこのちの石** [講談社] 1,200円  
如月 かずき (作) 田中 六大 (絵)




泣き虫で甘えん坊の子象トトは、病に倒れた大好きな母を助けたい一心で勇気を振り絞り、一人夜のサバンナに飛び込みます。巻末には動物学者によるコラムがあり、お話を楽しみながら、アフリカゾウの生態だけでなく子育てや家族についても詳しくなれる童話。

**たいよう 1,000おくにひとつのたいせつなほし** [小学館] 1,400円  
ステイシー・マカナルティー (原作) スティービー・ルイス (絵)



毎日、当たり前のように見ている太陽だが、地球にとってはなくてはならない大切な星。その秘密や仲間たち、地球との関係などを、太陽本人がとてわかりやすい語り口で教えてくれる、宇宙科学の入門絵本。


**きみひろくん** [くもん出版] 1,100円  
いとう みく (作) 中田 いくみ (絵)



スポーツも勉強もできて優しくてしっかり者のきみひろくんには、「ぼくにだけけうそをつく」という困ったところがある。ある日突然「本当のお母さんじゃないんだ」なんて嘘を言い出して…。友達や家族について考えるきっかけを与えてくれる児童文学。


## 小学校3年生の部

**ポリぶくろ、1まい、すてた** [さ・え・ら書房] 1,500円  
ミランダ・ポール (文) エリザベス・ズーノン (絵)



便利で使いやすく色とりどりのポリ袋。たくさん捨てられると、たくさんのゴミになる。ガンビアの女性アイサトは、そんな状況を自分たちで何とかしようと仲間と共に立ち上がる。プラスチックごみ問題について考えるノンフィクション。

**みんなとちがうきみだけど** [汐文社] 1,600円  
ジャクリン・ウッドソン (作) ラファエル・ロベス (絵)



教室に入ると、そこにいるみんなが君とは違っています。君の言葉が分かってもらえないことがあるでしょう。そんな時、君のそばにはもう一人の自分が立っています。外見・言葉・家庭環境、違うことは苦しいことかもしれませんが、すてきなことであります。


## 小学校4年生の部

**クマゲラ 北国からの動物記** [アリス館] 1,400円  
竹田津 実 (文・写真)




北海道に生息する大型のキツツキ、「クマゲラ」の春から冬までの生活が分かる本。アイヌの人々の「クマゲラ」についての言い伝えや体の不思議、子育ての様子も交えながら、著者が撮影した多くの美しい写真によって「クマゲラ」の生態が詳しく紹介されている。

**手と手をぎゅつとにぎったら** [佼成出版社] 1,300円  
横田 明子 (作) くすはら 順子 (絵)



虹川小学校の4年生と栗の木特別支援学校で交流授業をすることになった。初めて訪れた特別支援学校は虹川小の子どもたちには驚きの連続だった。普通とは何かを考えながら、小学校と特別支援学校という枠を超えて、心が通うまでを描いた物語。


**めぐみの森** [新日本出版社] 1,500円  
藤原 幸一 (文・写真)



アジアの森の先住民は、草や植物の実を薬にする。「暮らしを豊かにするための森のめぐみを動植物たちが教えてくれた」と言う。そんな森と動植物が消えようとしている今、私たちが本当に大切にしなければならない「豊かさ」について教えてくれる本。


## 小学校5年生の部

**いつか、太陽の船** [新日本出版社] 1,500円  
村中 李衣 (作) こしだミカ・根室の子供たち (絵)



気仙沼に住んでいた海翔一家は、東日本大震災で被災し根室へやってくる。愛犬を失い心に傷を負った海翔と、気仙沼で再び造船業を営もうとする父。そして、その父を支える母。根室の町や人々と紡ぐ家族の再生物語。


**読む喜びをすべての人に** [佼成出版社] 1,500円  
日本点字図書館を創った本間一夫 金治 直美



日本点字図書館を初めて創った本間一夫氏の、そこに至るまでの道のり・人生観を著したもの。北海道増毛町出身の5歳で失明した一夫少年が、周りの人につくしみ深く育てられ、愛情を「夢を実現する力」に変えていく姿に励まされます。


## 小学校6年生の部

**風を切って走りたい! 夢をかなえるバリアフリー自転車** [金の星社] 1,400円  
高橋 うらら (著)



小さなころから物づくりが大好きだった堀田健一さん。息子のために三輪車を作ったことをきっかけに、体の不自由な人でも乗ることのできる世界に一台の自転車作りをスタートさせる。今もオンラインワン自転車を作り続ける堀田さんの感動ノンフィクション。

**命のものさし 動物の命・人間の命・わたしの命** [合同出版] 1,500円  
今西 乃子 (著) 浜田 一男 (写真)



渡邊清一さんは、公務員獣医師として様々な命を目の当たりにしてきた。同じ命でも、尊重され宝物のように見える命もあれば、見えないところでごみのように捨てられる命もある。生き物と関わる仕事をしているからこそ伝えたい命のメッセージ。

**シャイローと歩く秋** [あすなろ書房] 1,400円  
フィリス・レイノルズ・ネイラー



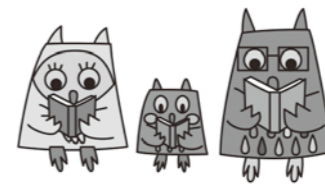
ひどいあつかいを受けていたビーグル犬のシャイローを引き取ることができたマーティ。しかし、元の持ち主ジャドとのトラブルが続く。町中みんなジャドを嫌っていたが、彼が事故にあい最初に助けを求めたのはシャイローだった。犬と少年の成長物語。



北海道「朝読・家読運動」  
イメージキャラクター「ぶっくん」  
学校での朝の読書や家庭での読書を通じた子どもたちの読書習慣の定着を図るため、北海道「朝読・家読運動」のイメージキャラクターとして誕生しました。本から心の栄養をたっぷり吸収し、めがねがハート型になっています。

※掲載されている書籍の価格は本体価格(税抜価格)です

# 北海道青少年のための200冊 令和2年度新たに選定された43冊紹介



公益財団法人 北海道青少年育成協会  
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階  
TEL. (011) 231-6451 FAX. (011) 231-6457  
ホームページ: <http://www.ikuseikyō.jp/>  
facebook: <https://www.facebook.com/ikuseikyō>  
Eメール: [youth@ikuseikyō.jp](mailto:youth@ikuseikyō.jp)

## 中学生の部

**徳治郎とボク** [理論社] 1,400円  
花形 みつる

お祖父ちゃんはいたいのものが、それがどんなに便利でも新しくても高価でも気に入らないし、一度決めた生活の流れは変えようとしないう頑固者だ。そんなお祖父ちゃんと一緒に畑に行くボクにだけ、子どもころの話をしてくれるのだった。

**しずかな魔女** [岩崎書店] 1,300円  
市川 朔久子

学校に行けなくなった中一の草子は、図書館に通う日々を送っている。〈しずかな子は、魔女に向いている〉という言葉の意味を知りたくてレファレンスを希望した草子に、司書の深津さんが渡したのは「しずかな魔女」というタイトルの白い紙の束だった。

**義足と歩む** [汐文社] 1,500円  
ルワンダに生きる日本人義肢装具士 松島 恵利子 (著)

アフリカが好きで、後に夫となるルワンダ出身のガテラさんとケニアで出会った真美さん。右足に装具が必要なガテラさんのために義肢装具士になった真美さんは、ガテラさんとともに、障害のある人が未来へと歩む手助けに義足を配布する活動を続けている。

**ぼくだけに見えるジェシカ** [徳間書店] 1,500円  
アンドリュー・ノリス (作)

ファッションに興味を持つ中学生のフランスは、「男のくせに」とからかわれ学校で孤立していた。ある冬の日、ひとりで昼休みを過ごしていると、幽霊の少女ジェシカが現れる。ほかに彼女を見ることができるのは二人だけ。少しずつ変わっていく彼らの物語。

**リスタート** [あすなろ書房] 1,600円  
ゴードン・コマーン

夏休みに屋根から落ちて記憶を失ったチェースは、おそろおそろ新しい人生を歩みはじめるが、品行方正なチェースの姿に周囲の人々はとまどいと疑いの目を向ける。そして、少しずつつよみがえる記憶。ワルだったチェースは人生をやり直せるのか。

**moja もじや** [講談社] 1,300円  
吉田 桃子

毛深いのが悩みの中学2年生の理沙。肌を見せない努力をして自分の悩みを隠しているが、周りからは何も苦労していない幸せな女の子だと思われる。仲の良い希空とこのみにも内緒にしていることで、二人との溝がどんどん深くなってしまふ。

**太陽ってどんな星?** [新日本出版社] 1,500円  
宮原 ひろ子

身近だが、知られていないことも多い太陽。書き残された太陽の黒点の記録や、南極の水や巨木に残された痕跡を調べていくと、太陽と気候との関係性が浮かびあがってきた。太陽の研究をしていた作者が、写真や図を入れながらわかりやすく解説する。

**世界のいまを伝えたい** [汐文社] 1,500円  
久保田 弘信

子どもの頃は物理学者になるのが夢だったが、今は戦場カメラマンと呼ばれる久保田弘信。パキスタン訪問で難民と出会い、世界の現実に向き合っていく彼が、なぜジャーナリストは危険を顧みず戦地等に赴くのか、自分の半生を振り返りその理由を語る。

**恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ** [新潮社] 1,450円  
小林 快次

「むかわ竜」とも呼ばれる、日本初の「全身骨格」の写真で有名な北海道大学の小林先生。未知の恐竜化石を求めて1年の3分の1は発掘調査のために世界を飛び回る。「ファルコン・アイ」「ダイナソー小林」の異名を持つ学者のスリリングな発掘記。

**脱・呪縛** [理論社] 1,300円  
鎌田 實 (著) こやま こいこ (絵)

医師・作家である鎌田實が、自分の生い立ちや医師として生身で感じ得た「生きる意味」を、そのために持っているほしい「呪縛から脱する力」を伝える。単に「自分を語る」のではなく、十代の読者にもわかりやすい例を出しながら希望を持たせる語りになっている。

**瓶に入れた手紙** [文研出版] 1,500円  
ヴァレリー・ゼナッティ (作)

イスラエルに暮らす少女、タル。ある日、彼女の家の近くで、パレスチナ人による自爆テロが起こる。このテロをきっかけにタルが瓶に入れた手紙は、パレスチナ人のナイームの手に渡る。メールでのやりとりが始まり、お互いのことを知っていくのだが…。

**アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」** [集英社] 900円  
中川 裕

日露戦争直後の北海道を舞台にした人気漫画「ゴールデンカムイ」。奇想天外なストーリーと魅力的な登場人物たち。アイヌの伝統的生活や狩猟などのリアルで克明な描写はアイヌ文化を多様な角度から伝える。アイヌ文化研究者が案内する斬新なアイヌ文化入門書。(原作漫画、書き下ろし画も豊富に掲載)

**夢見る帝国図書館** [文藝春秋] 1,850円  
中島 京子

上野公園のベンチで独特なファッションの喜和子さんと知り合った私。小説家志望と話す喜和子さんは、図書館が一人称の小説「夢見る帝国図書館」を書けという。戦後を生きた喜和子さんの波瀾万丈の人生と、日本初の図書館の歴史が時空を超えて紡ぎだす物語。

**あなたの右手は蜂蜜の香り** [新潮社] 1,550円  
片岡 翔

俱知安町の小学3年生の雨子の無邪気な好奇心は母グマの射殺という事態を招く。残された子グマへの自責の念から、子グマを守るために動物園の飼育員になる決意をする雨子。人生のすべてをかけて子グマを故郷の山へ戻す驚きの作戦。それは暴挙かメルヘンか。

**イチから分かる北方領土** [北海道新聞社] 800円

新聞連載「一から分かる北方領土の歴史」をもとに、ロシア人助手の色丹島ルポ、記者による最新線取材の書き下ろし、全道世帯調査等の豊富なデータを加え、北方領土の知られざる歴史から現在の課題までの深く難しい問題を正面から考えるブックレット。

**ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー** [新潮社] 1,350円  
ブレイディ みかこ

お上品な名門小学校を卒業し「元・底辺中学校」へ進学した息子。いじめ、人種差別、喧嘩が普通にある学校には元バンクの母(かあ)ちゃんもびっくり。学校生活の中で彼は多様性を受け止め、考え、成長をしていく。英国のある中学校の日常を通して親子の成長を綴る。

**夏の騎士** [新潮社] 1,400円  
百田 尚樹

意気地無しで臆病な僕、肥満体で貧しい家庭の陽介、吃音の健太の三人はクラスの落ちこぼれ。僕らは小学校最後の夏休みの前に「騎士団」を結成し裏山に秘密基地を作った。そして思いがけない冒険の幕が上がった。友情と勇気と小さな恋。眩しい「あの夏」の物語。

**キリン解剖記** [ナツメ社] 1,200円  
郡司 芽久

動物園からのキリンの訃報で始まる解剖学者の仕事。10年間で30頭のキリンを解剖(たぶん世界一の数)して見つけた、無いと思われていたキリンの8番目の首の骨! 世界初の発見に至るまでの手探りの研究活動と、出会った多くの人々、キリンへ想いを熱く語る。

**定価のない本** [東京創元社] 1,700円  
門井 慶喜

敗戦直後の東京・神田神保町で古本屋の店主が本の下敷きになり死んだ。同業者の友人は数々の不可思議に気づく。そこにはGHQ(連合国軍総司令部)の巨大な陰謀があった。日本の歴史、古典を守る戦いに立ち上がった古書店主たち。GHQとの騙し合いの痛快な物語。

**セバット・ソング** [潮出版社] 1,800円  
谷村 志穂

北海道・大沼湖畔にある児童自立支援施設。万引き、暴力、虐待などさまざまな事情で親を離れて暮らす少年少女たち。塀も鉄格子も無い自然豊かな家庭的環境で心理ケアを受け復帰と自立を目指す。愛を求めてもがく彼らと寄り添う人たちの切なくも希望の物語。

※掲載されている書籍の価格は本体価格(税抜価格)です

## 「北海道青少年のための200冊」選定の柱

- ① 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
- ② 人間の幸せに貢献する科学に尽くそうとする心を育てるために。
- ③ 平和を愛し、幸福な社会をつくろうとする心を育てるために。
- ④ 人間の尊厳を守ろうとする心を育てるために。
- ⑤ 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。

### 【43冊はどうやって選ばれたの?】

北海道青少年育成協会が委嘱する北海道学校図書館協会選定部の先生方が、月に2回の選定会の中で読んだ多くの作品から厳選したものです。

### 【どのように活用されているの?】

①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本の紹介として児童生徒へ配布 ②公立図書館では200冊の資料展示 ③「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンなど幅広く活用されています。また、小・中・高等学校や教育関係機関のホームページでも紹介されています。